



びらり らりびらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 121

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。

※書名の後の（ ）の数字は請求記号です。

※資料の配架場所は本号が発行された時点のものです。

問) 「慰問袋」にどんなものを入れたのか知りたい。

答) 「慰問袋」「慰問品」をキーワードとして **ことば** で検索してみます。

全資料 → **ことば** → **慰問袋** ⇒ 317件

全資料 → **ことば** → **慰問品** ⇒ 54件

※ヒット件数が多いときは、出版年や分類で絞り込みを行うことでより有効な資料が検索できます。

『戦争とくらしの事典』(210.75/Se73)開架一般

『日本婦人 第44号(昭和12年9月)』(051/N77/44)閉架雑誌

『日本婦人 第63号(昭和14年4月)』(051/N77/63)閉架雑誌

『勇士の家 第1号(昭和14年2月)』(210.7/Y99/1)閉架雑誌

『国民防空 第5巻第1号(昭和18年1月)』(393.6/Ko48/5-1)閉架雑誌

※「慰問袋」

戦地で戦う兵士を気遣い、生活に役立つような品や心を慰めるような品々をつめた袋のこと。中には、雑誌や日用品、菓子類のほか、必ず慰問文が入っていました。



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

「お花見」の誘い…。

桜の名所として有名な九段界限。満開の休日には行列ができるほどの賑わいです。一人で味わい深く桜を愛でるのも一興ですが、仲間とお弁当や飲み物をもって満開の桜の下で宴を催すのも楽しいものです。

現在の連絡手段は、電話やメールが多いようですが、当時手紙ではどのように書いていたのでしょうか。戦中の男性(海軍軍人)と戦前の女性がともに友人にあてた「花見の誘い」の手紙の一例を紹介します。それぞれの時代の空気が感じられませんか。

- ・ 春光^{しゅんこう}燦々、萬花^{ばんか}爛々、遊意^{ゆうい}湧きて押へ難く候。櫻花咲く木下陰に寝そべりて、詩集^{ひもと} 繙く雅意は無之く候へども、櫻の季節をよそに、たまの上陸を下宿に籠るは、實に堪へ難く存ぜられ候。それかと申し我等風流の趣は解さず候とも 流石^{さすが} 一瓢を携へ花下の 逍遙^{しょうよう} 致し度候。(略) 明日の日曜を幸に、御同遊如何に候や花散らぬ間と取急ぎ、御誘ひ申上候。右折り返し御返事待上候 草々
(『海軍軍人書簡文 海の便り』昭和16年発行(816/Ki68)より引用)

- ・ 六日のあやめ十日の菊、櫻も花は七日とやら、明日造幣局の花見しやうと思ひ立つたの。あなたいかが、親しい方ばかりなのよ。御返事待ってよ。
(返事)
〇〇様。お花見なさるって、わたしも是非お供したいの。私行きますわ。
明日は特に早起きましてね。
(『昭和女子手紙の文』昭和9年発行(816/I98)より引用)



—図書室から—

特別企画展・館蔵名品展「版画に描かれたくらしと風景」のご案内

平成22年5月9日(日)まで昭和館3階特別企画展会場にて開催しております。

ぜひ、ご覧ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 121

2010年3月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1